

秋田県大館市と友好都市協定を締結

〓 四百年の時空を超えて〓
とき

10月21日に秋田県大館市と友好都市協定を結びました。

当日は大館市内において、両市の市長、議会議員をはじめ関係者の出席のもと、協定締結調印式を執り行いました。



常陸大宮市長
三次 真一郎

常陸大宮市とは、1602年の佐竹氏の秋田国替え、そして平成9年に本市の小学生が旧大宮町を訪れたことをきっかけに交流が始まりました。先人が積み重ねてきた思い、歴史の重みが今回の協定締結につながった、決して偶然の出来事ではないと感じています。

今後は、両市・両市民の絆がより強固になり、防災だけでなく、文化や産業、教育など様々な面で、交流の輪が一層広がることを期待します。

大館市とは、佐竹氏に由来する歴史的な縁をもとに、昨年7月「災害時における相互応援に関する協定」を締結し、相互の信頼関係を築いてきました。こうした中で友好都市協定を締結できることは、大変意義深いものであり、心から嬉しく思っております。

今後は両市間で様々な分野における交流や連携を推進し、信頼と絆を大切に、共に魅力あるまちづくりの実現に向けて取り組みたいと考えております。



大館市長
福原 淳嗣



<大館市と常陸大宮市のこれまでの関係>



○歴史的な縁

1602年（慶長7年）、常陸国を支配していた佐竹氏が秋田に国替えとなり、旧大宮町（現在の常陸大宮市）を本拠地としていた小場氏（佐竹西家）も佐竹氏とともに秋田へ移り、1610年（慶長15年）初代大館城代となった。

小場氏は大館城周辺の土地に、自分の故郷の地名である「部垂」「長倉」「宗福寺」「一心院」「八幡神社」などを命名した。

○交流

平成9年、大館市に住む小学生が町名の由来に関心を持ち、旧大宮町を訪れたことをきっかけに交流が始まった。以後、小学生同士の友好交流会や市文化財保護協会による訪問、郷土博物館での大館佐竹文物展を開催した。

○防災協定

平成26年7月10日「災害時における相互応援に関する協定」を締結した。

友好都市締結式

平成27年10月21日



締結調印式の会場（クラウンパレス秋北）



協定書に調印後、両市長はがっちりと固い握手を交わしました。



記念品の奥久慈漆「一閑朱塗盛鉢（常陸大宮市）」と曲げわっぱ「GURURI（大館市）」を交換しました。



両市のゆるキャラ「はちくん」と「ひたまる」も調印式を見守りました。

忠犬ハチ公のふるさと大館市

☆行 政

大館市は、秋田県北東部出羽山地を縫って流れる米代川と長木川の清流沿いに開けた大館盆地にあります。秋田、青森、岩手の北東北三県の要衝の地であり、古くから人々が定着し、縄文時代早期の遺跡も残っています。

面積は、913.22km²、人口約76,000人。自然環境に恵まれ、あきた北空港（大館能代空港）や日本海沿岸東北自動車道などの高速交通体系の整備、各種施設の充実などの住環境、経済環境の整備が進み、北東北の拠点都市へと飛躍の時を迎えています。



☆特産品

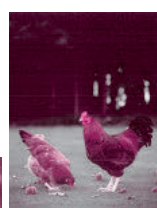
豊かな大地と豊富な森林資源に恵まれた大館市は、その地勢からこの地方固有の伝統的な産物を創り出しました。



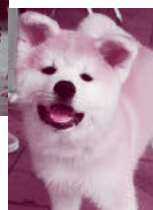
大館曲げわっぱ



きりたんぼ



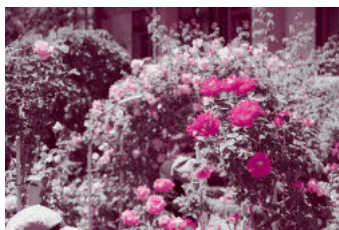
比内地鶏



秋田犬

☆イベント

年間をとおして、様々な祭りが開催されています。



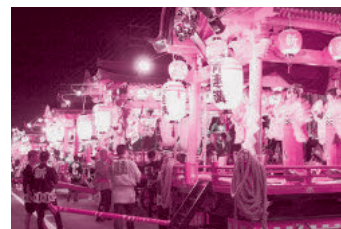
大館バラまつり



大文字まつり



アメッコ市



大館神明社例祭